

報 道 資 料
令和元年 10 月 3 日

県内初のグリーンスローモビリティの実証調査の実施について

平成 30 年度から国土交通省で実施している「グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業の「実証調査地域」に県内で初めて選定され、具体的な内容が決定しましたので報告いたします。

グリーンスローモビリティ

時速 20 km 未満で公道を走ることが可能な 4 人以上の電動モビリティ
「国土交通省が示す特長（改）」

- ①Green：CO₂の排出量が少ない電気自動車
- ②Slow：ゆっくりなので、周りが見える
- ③Safety：速度制限で安全。高齢者も運転可
- ④Small：小型なので狭い道でも問題なし
- ⑤Open：窓がない解放感が乗って楽しい



<背景>

高齢者を含め誰もが社会参加しやすい環境を整備し、地域特性に応じたコンパクトな移動を検討する中で、社会福祉法人等による送迎支援などが行われている。

今後、社会参加を促進するとともに、地域の人と人がつながり、地域共生社会の実現に向けて様々な施策が検討されている中で、移動に対する選択肢の拡大が求められている。

<契機>

市と千葉大学予防医学センターは、都市の社会資源を活用しながら、住民主体の活動を推進できる環境を整備し、エビデンス（科学的根拠）を構築する都市型介護予防モデル「松戸プロジェクト」として共同研究をしています。

その中で、千葉大学予防医学センターの東部地区のフィールド調査の中で、地域の高齢化に伴い、社会参加するためのコンパクトな移動が必要であるとの提案があり、地域活動が盛んな自治会と共同で提案するに至った。

都市型介護予防モデル「松戸プロジェクト」

平成 28 年 11 月 2 日に市と千葉大学予防医学センターは共同研究の協定を締結。

○住民主体の介護予防に資する活動拠点の増設を推進、活動を実施するための研修等の企画・推進

○急増する高齢者が活躍できる地域づくりの間接支援

○本研究における対象者（一般高齢者等）への調査データ、要介護認定データ、介護保険給付実績データ等の分析による要介護リスク・リスク者分布の分析、事業効果評価・要介護化要因の分析並びに介護予防事業等の効果評価

○今後の介護予防施策のあり方に向けた共同検討

○都市型モデルとしての手順書や評価方法の標準化の構築並びに全国への発信

＜実証調査＞

地域特性に応じて、加齢などにより移動が不自由を感じている方々の社会参加を促進し、地域活動がより活性化できるかを住民自身の活動で検証する。

主な検証内容は、

- ① 公共交通ネットワークを補完するコンパクトな移動手段になり得るか
- ② 移動手段があることにより、社会参加するような行動変容が起きるか
- ③ 地域の事業者等の協力を得ながら、コレクティブ・インパクトの実現ができるか
- ④ 住民による住民のための活動により、見守り・声掛けなどにより地域が活性化できるか（高齢者の役割や生きがいの創造）
- ⑤ 日常的に見逃しがちな危険個所などを発見し、安心・安全につながるか

「事業名称」

全世代型地域共生モビリティ実証事業 with 都市型介護予防モデル松戸プロジェクト

「実証地域」

河原塚南山地区（面積：0.17km²、高低差：20.8m、一種低層住居専用地域
人口（世帯数）1,222人（410世帯）

「事業計画者」

松戸市（高齢者支援課）、千葉大学予防医学センター、河原塚南山ことぶき会

「国から貸与されるカート」

7人乗りカート1台ヤマハ製（AC200V）※白ナンバー（公道走行可能）
車両重量：590kg（充電8時間、走行距離30km）、長さ：394cm、
幅：135cm、高さ：186cm（地上高28cm）

（参考：自動車保険）

対人保障：無制限、対物保障：無制限、人身傷害：5,000万円／人

「実証期間」

令和元年10月28日（月）から11月23日（祝）までの4週間の平日の昼間

「役割分担」

松戸市：総合調整及び協力者の開拓

千葉大学予防医学センター：調査及び関連費用の提供

河原塚南山ことぶき会：運転者ボランティア及び主たる利用者

河原塚南山自治会：運転者ボランティア及び利用者、車庫代・電気代等の負担

その他協力者：運転手ボランティアの協力、駐車場の提供や買い物支援

「利用者」

原則的には、河原塚南山ことぶき会を中心に、自治会内の方

「費用」

利用者：無料、運転手：無償ボランティア

「運行ルート」平日のみ（祝祭日は除く）→ 詳細は別添：地図に記載

※運行ルート設定については、関係機関・関係者と協議し、最終調整中

- ① 交通渋滞を招かない（信号に配慮し、主要道路の走行は100m以内）
- ② カートが低床なため、段差がない道路
- ③ 原則、定路線

全てのルートは自治会館が起点・終点としている

巡回ルート：月4便、火・水・金3便

東松戸駅方面ルート：火2便

八柱駅方面ルート：金2便

買い物ルート：水2便

ことぶきデイ：木（グラウンドゴルフ2便、元気応援くらぶ「南山カフェ」2便）

「今後の展開」

実証調査結果を踏まえ、地域特性に応じた実証調査地域の拡大を想定している
（国土交通省）

グリーンスローモビリティを活用した脱炭素型地域交通モデル構築支援事業

①計画策定事業：定額（上限1,000万円）

②設備等導入事業：補助率1／2

（厚生労働省）

介護保険特別会計「地域支援事業」

①間接費の助成

＜オープニングセレモニー・出発式＞

日時：令和元年10月28日（月）11時より（11時30分：出発）

場所：河原塚南山自治会館（河原塚165－7）

出席予定者：市長・副市長・福祉長寿部長

河原塚南山ことぶき会会長・自治会長

※取材時の駐車場は、ユニクロ東松戸店（河原塚156－1）をご利用ください

＜実証期間中のイベント＞

日程が変更される場合がありますので、事前にお声かけください。

令和元年11月 3日（日）午前中 文化祭（河原塚南山自治会館）

令和元年11月 9日（土）午前中 地域防災訓練（河原塚小学校）

令和元年11月16日（土）11時から みんなのダイナー（熊野神社）

＜試乗会＞

その他の地域などからの試乗を土・日曜に行う予定。



＜参考＞グリーンスローモビリティの実証調査の選定状況

平成30年度

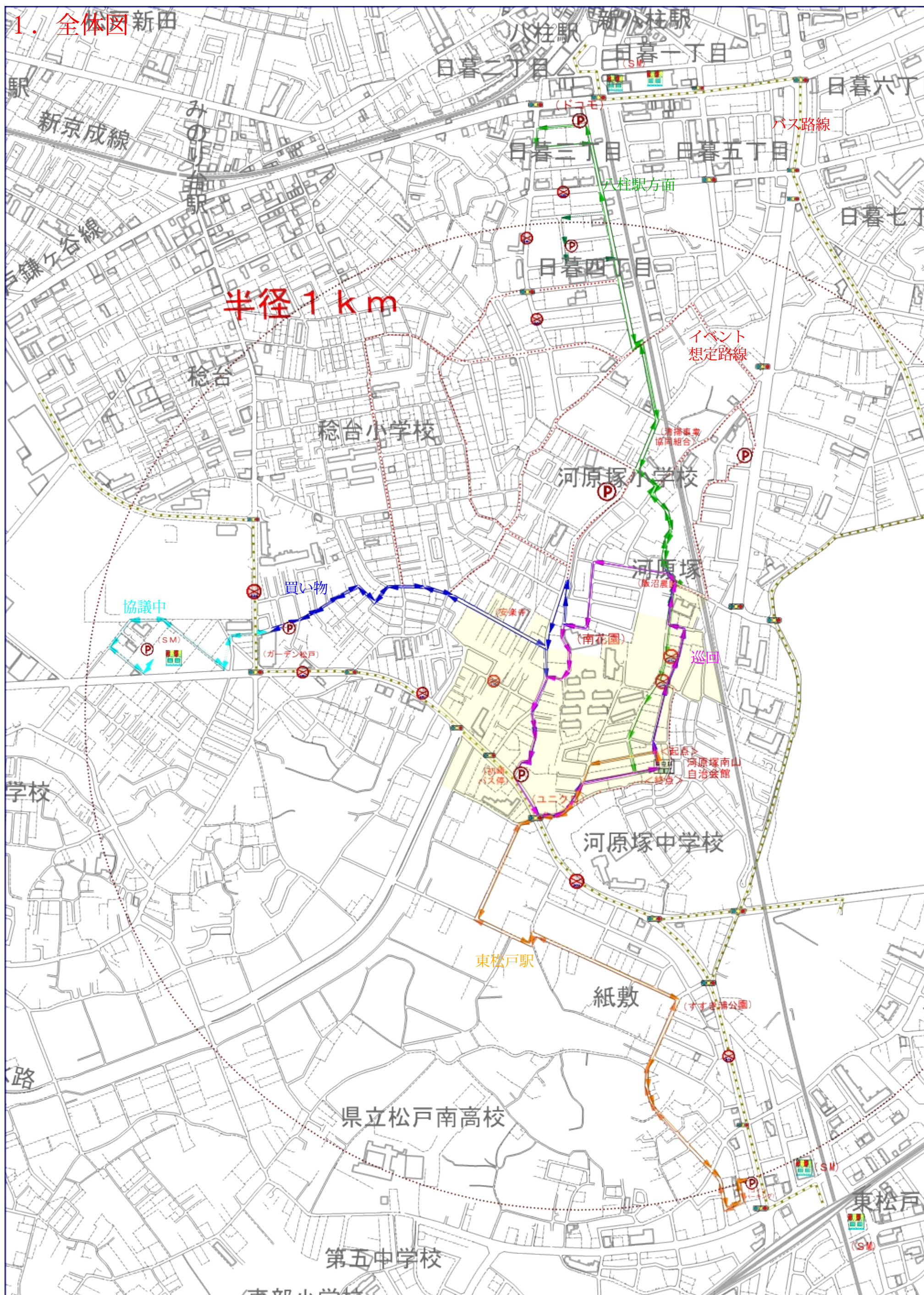
提案者	事業名称
福島県 いわき市	被災復興地域の経済循環促進に向けた地域交通イノベーション実証事業 【被災地中心市街地での観光客向け定期周遊モビリティ】
三重県 東員町	高齢化が進む住宅団地で共助によるモビリティサービスの実現 【名古屋 圏ニュータウンでの住民向けデマンド型ラストワンマイルモビリティ】
岡山県 備前市	鶴海お出かけちょい乗りカート運行事業 【福祉と連携した中山間高齢 者向けデマンド型ラストワンマイルモビリティ】
広島県 福山市	しおまち（潮待ち）モビリティ実証事業～国内随一の近世港町「鞆の浦」 の暮らしとおもてなしをつむぐ～ 【住民の暮らし、観光客のおもてな し、離島のお出かけモビリティ】
熊本県 天草市	低炭素型モビリティを活用した世界遺産と住環境の保全支援事業 【世界 遺産集落で住民生活と共存する住民・観光向けモビリティ】

令和元年度

提案者	事業名称
千葉県 松戸市	全世代型地域共生モビリティ実証事業with都市型介護予防モデル松戸プ ロジェクト 【郊外住宅地における介護予防・健康づくりを推進する定 路線型モビリティ】
兵庫県 明石市	地理的校風不便地域の生活を支える次世代モビリティの導入実験 【標 高差のある住宅地と生活拠点・バス停を結ぶ定路線型モビリティ】
兵庫県 朝来市	坂道の住宅団地を駆け巡るラストワンマイルモビリティ 【中山間地域 の受託地におけるシルバー人材が活躍する定路線型モビリティ】
岡山県 笠岡市	スローな空間・スローな乗り物～期待に応えるモビリティ@笠岡諸島～ 【離島の住民の移動と観光周遊スダンを兼ねるデマンド型・定路線型モ ビリティ】
山口県 宇部市	“コンパクトシティに向けて” どこでも入れる「地域の足」まちなかグ リーンスローモビリティ実証事業 【中心市街地における高齢者の移動 手段としての定路線型モビリティ】
宮崎県 宮崎市	中心市街地の回遊性向上による波及効果を目指した新モビリティ実証調 査事業 【駅とまちなかをつなぎ、市街地を活性化させる定路線型モビ リティ】
宮崎県 延岡市	自立性の高い集落形成を後押しする新モビリティ実証事業 【公共交通 の空白地である三角州地帯の生活を支えるデマンド型モビリティ】

【問い合わせ先】

福祉長寿部 高齢者支援課 ☎ 047-366-7346



縮尺 1/7011



※敷地の境界、都市計画などの内容を証明するものではありません。

2. 巡回ルート



3. 東松戸方面ルート



縮尺 1/4869

0 200m

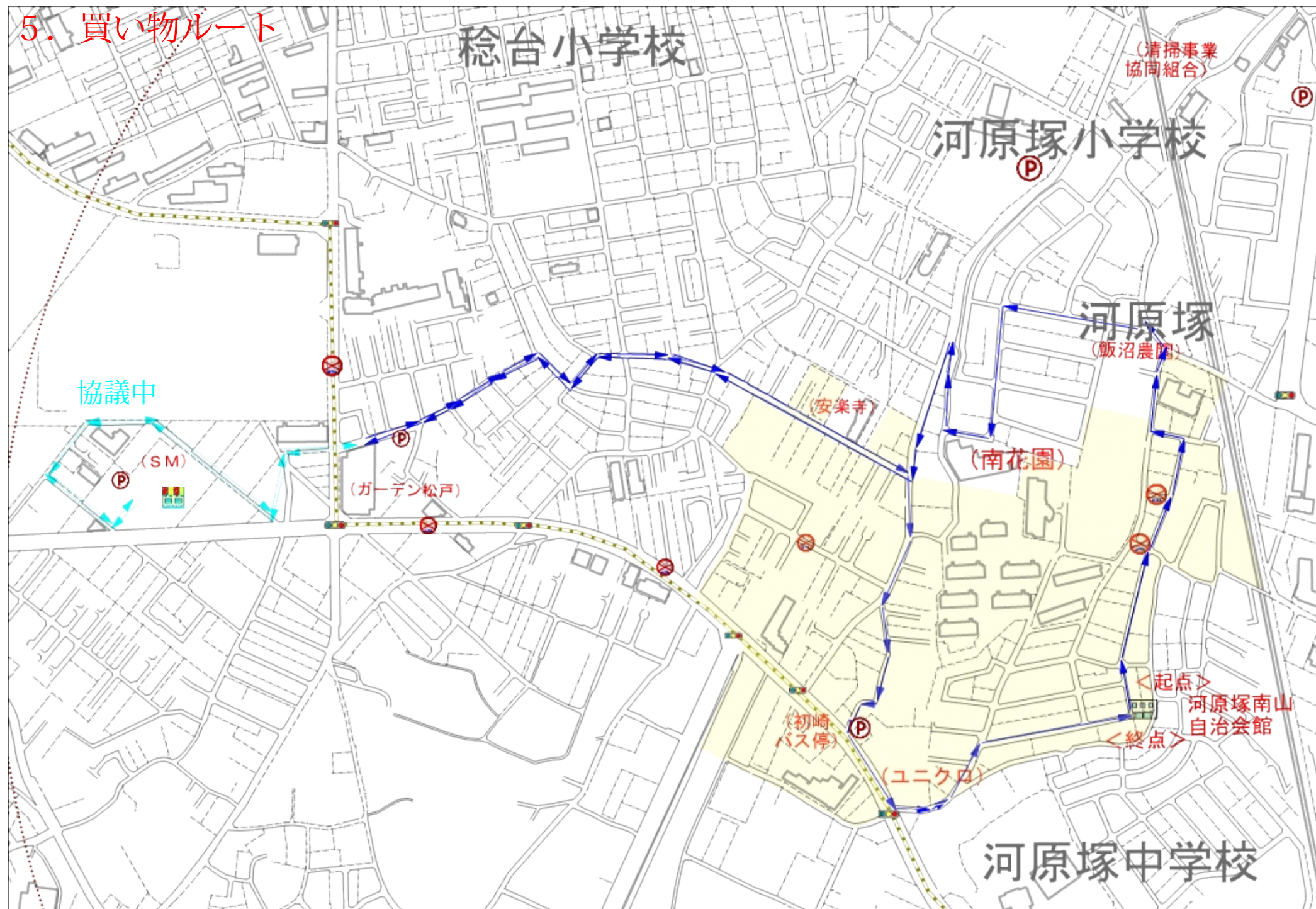
※敷地の境界、都市計画などの内容を証明するものではありません。

4. 八柱駅方面ルート



※敷地の境界、都市計画などの内容を証明するものではありません。

5. 買い物ルート



オープニングセレモニー 報道機関用駐車場

自治会館

関係者臨時駐車スペース
をお借りしています。
お店は11時開店ですが
市職員がおります。

河原塚中学校

